



風と大地の恵みに新たな希望
が芽吹く、郷土愛あふれるまち
～みんなでつくる暮らしあけい南区～

みなみ風

令和8年 1月18日



発行/新潟市南区役所
編集/南区役所地域総務課
〒950-1292 南区白根1235番地
電話 025(373)1000(代表)
FAX 025(373)2385

南区ホームページ <https://www.city.niigata.lg.jp/minami/> Eメール chiikisomu.s@city.niigata.lg.jp(南区役所地域総務課)

南区の人口(令和7年12月末現在、カッコ内は前月比): 41,641人(-72) 男: 20,333人(-30) 女: 21,308人(-42) 世帯数 16,925世帯(-22) (住民基本台帳による)



伝統的工芸品 白根の仏壇

江戸時代中期の元禄年間(1688~1704年)に、宮大工の長井林右工門が京都の技術を取り入れた「京形の仏壇」を作りました。その後自身で簡単な彫刻を施した「白木仏壇(※)」を完成させたのが、白根仏壇の始まりといわれています。天明年間(1781~1789年)には白根独特の技術技法が生み出され、木地・彫刻・金具・漆塗り(金箔)・蒔絵の5部門に分業化することで、各工程の専門の職人が作り出す「白根仏壇」が確立されました。

昭和55年(1980年)には「伝統的工芸品」として通商産業大臣(現 経済産業大臣)の指定を受け、300年を超えた現在も職人たちの高い技術と誇りは受け継がれています。

問白根仏壇協同組合(新潟みなみ商工会内) ☎373-4181 ※漆を塗っていないシンプルな仏壇

白根仏壇ができるまで



木地

厳選した良質な材料を使用し、細かい部分まで手仕事で作ります。

漆で模様を描き、乾かぬうちにその上に金粉・銀粉を蒔くから「蒔絵」というんだって!



蒔絵

漆で花鳥や人物を描き、金粉や銀粉などを蒔いて装飾します。



金具

銅・真鍮板に打ち出し作業を行い着色し、伝統的な手作業で製作します。



彫刻

人物や花鳥などの図柄を選定し、のみや小刀などで手彫りします。



漆塗り

形作られた木地に下地加工を施し、天然精製漆を手塗りします。この作業を何回も繰り返して仕上げます。



金箔

漆塗りが仕上がった後、純金箔を一枚ずつ丁寧に押し(貼り)ます。



組立

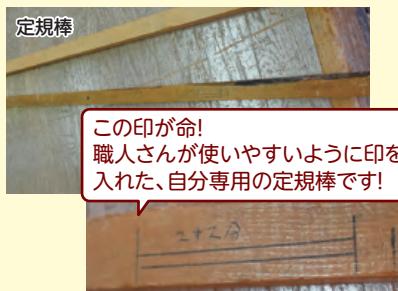
各工程で完成したものを一ヵ所に集め、最終組み立てをします。



白根仏壇には設計図がない!

白根仏壇には設計図がありません。設計図の代わりに、仏壇のあらゆる箇所の寸法が記してある「定規棒」を使います。

この定規棒を使って寸法を取って木を切り、カンナで削つて整えます。設計図がなくても、技術と定規棒で正確に作り上げます。



この印が命!
職人さんが使いやすいように印を入れた、自分専用の定規棒です!



女性の漆を塗るハケは髪の毛でできている!

ハケの塗り跡を残さないように塗るには、髪の毛が最適です。

髪の毛は、ハケ先だけではありません!
ハケの先端から後ろまで、髪の毛が入っています。先端が傷むと、きれいに塗れなくなるので、切りそろえながら短くなるまで使用します。



海外クルーズ船の担当者が
蒔絵を体験しました



白根仏壇協同組合では、南区内の小学校でも蒔絵体験を実施しています。



新潟港視察の一環として、南区で体験をしました!



細かい作業に真剣な表情!

気に入った絵柄で挑戦!
約30分ほどでできあがり♪
異国文化に触れた体験は、有意義な時間になりましたね。



白根の仏壇 世界へ!

昨年4月~10月まで開催された「EXPO2025大阪・関西万博」では、新潟県産品の魅力を世界に発信するブースも設けられました。錦鯉や花火、雪や伝統工芸品など、彩りある県産品が出展され「白根の仏壇」も認知度向上と魅力発信の一役を担いました。



白根の仏壇があの大阪・関西万博会場に出張したなんて! スゴイね



みなみけたん
仏壇のお友だち
「ろうそく」と
「線香」ですが…



よ~く見てみてください。「ろうそくの炎・線香の先端」を! 何か違和感はありませんか?

これは、火を使わなくても大丈夫な電池式のろうそくと線香です。本物そっくりですよ!

⚠衣服に火が付いた ⚠消し忘れて火事に

なんて心配がなくなります。お年寄り、小さいお子さんでも安心して使えますよ。